

## 降誕日特禱

全能の神よ、あなたは独りのみ子に人性を取らせ、この時、清いおとめから生まれさせてくださいました。どうかその恵みによって、再び生まれ、神の子とされたわたしたちを、常に聖霊によって新しくしてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。**アーメン**

## 旧約聖書 イザヤ書 52章 7-10 節

52:7 なんと美しいことか、山々の上で良い知らせを伝える者の足は。平和を告げ、幸いな良い知らせを伝え、救いを告げ、シオンに「あなたの神は王となった」、と言う者の足は。8 聞け、あなたの見張りが声を上げ、共に喜び歌う。主がシオンに帰られるのを、彼らは目の当たりにするからだ。9 歓声を上げ、共に喜び歌え、エルサレムの廃虚よ。主がその民を慰め、エルサレムを贖われたからだ。10 主はその聖なる腕を、すべての国民の目の前にあらわにされた。地の果てのすべての者が、私たちの神の救いを見る。

## 詩 編 第98編 1-5 節

- 1 新しい歌を主に歌え。神は不思議なみ業を行われた // その偉大な右手、尊いみ腕は救いの力
- 2 主は救いを示し // 諸国の民に正義を現された
- 3 慈しみとまことをもって、イスラエル之家に心を留められる // 遠く地の果てまで、すべての者が神の救いを見た
- 4 世界よ、主に向かって喜びの声を上げ // 声を放ち賛美の歌で神をほめよ
- 5 豎琴を奏でて主をたたえ // その調べに合わせてほめ歌え

## 使徒書 ヘブライ人への手紙 1章 1-12 節

1:1 神は、かつて預言者たちを通して、折に触れ、さまざまなしかたで先祖たちに語られたが、2 この終わりの時には、御子を通して私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者と定め、また、御子を通して世界を造られました。3 御子は神の栄光の輝きであり、神の本質の現れであって、万物をその力ある言葉によって支えておられます。そして、罪の清めを成し遂げて、天の高い所におられる大いなる方の右の座に着かれました。4 御

子は、天使たちより優れた者となりました。天使たちにまさる名を受け継がれたからです。

5 神はかつて、天使たちの誰に向かって、こう言われたでしょうか。「あなたは私の子、私は今日、あなたを生んだ。」さらにまた、「私は彼の父となり、彼は私の子となる。」と言われました。また、神はその長子を再び世界に送るにあたって、こう言われます。「神の天使たちは皆、彼を礼拝せよ。」7 また、天使たちに向かっては、こう言われます。「神は、天使たちを風とし、自分に仕える者たちを燃える火とされる。」8 一方、御子に向かっては、こう言われます。「神よ、あなたの王座は世々限りなく、公平の笏があなたの王権の笏である。あなたは義を愛し、不法を憎んだ。それゆえ、神、あなたの神は、あなたに喜びの油を注がれた。あなたを仲間から選び出して。」10 また、こう言われます。主よ、あなたは初めに地の基を据えられた。天もあなたの手の業である。」11 天地は滅びるが、あなたはいつまでもとどまられる。すべてのものは衣のように古び、12 あなたが外套のように巻くと、これらのものは、衣のように取り替えられる。しかし、あなたは変わることなく、あなたの歳月は終わることがない。」

## 福音書 ヨハネによる福音書 1章 1-14 節

1:1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。2 この言は、初めに神と共にあった。3-4 万物は言によって成った。言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に成ったものは、命であった。この命は人の光であった。5 光は闇の中で輝いている。闇は光に勝たなかった。6 一人の人が現れた。神から遣わされた者で、名をヨハネと言った。この人は証しのために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じる者となるためである。8 彼は光ではなく、光について証しをするために来た。

9 まことの光があった。その光は世に来て、すべての人を照らすのである。10 言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。11 言は自分のところへ来たが、民は言を受け入れなかった。12 しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には、神の子となる権能を与えた。13 この人々は、血によらず、肉の欲によらず、人の欲にもよらず、神によって生まれたのである。

14 言は肉となって、私たちの間に宿った。私たちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。